

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-3		事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)
担当	建設局土木部道路課 長南 TEL211-2617			
全体計画				
事業内容	鉄道により分断されている市街地の一体化、交通結節点へのアクセス性の向上や公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上を図るために、交通結節点周辺における施設整備を一体的に行う。		＜年度別の事業内容＞	
	<JR白石駅周辺地区> ○自由通路の新設と駅舎の橋上化 ○北口駅前広場の整備 ○交通容量の増大に対応した南口駅前広場の拡張 ○白石駅北通の整備 ○各施設のバリアフリー化		(平成19年度) 白石駅北通整備着手 (平成20年度) 白石駅北通整備完了 人道橋・乗換跨線橋切替(仮設工事) (平成21年度) 自由通路整備着手 駅舎橋上化工事着手 (平成22年度) 自由通路・駅舎供用開始 北口・南口駅前広場整備	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	(白石駅北通) 整備工事(幅員21m、延長320m) 用地取得 (北口広場) 仮設バス転回場整備(800㎡) 用地取得 (駅舎・自由通路) 移転補償		(白石駅北通) 整備工事完了(幅員21m、延長320m) 用地取得 (北口駅前広場) 仮設駐輪場整備(900㎡) 用地取得 (駅舎・自由通路) 人道橋・乗換跨線橋切替(仮設工事) 駅舎移転補償	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	(北口駅前広場) 暫定駐輪場・バス転回場整備(1,150㎡) 路盤工(650㎡) (駅舎・自由通路) 自由通路整備(平成22年度まで継続) 駅舎移転補償 (南口駅前広場) 駐輪場整備(500㎡)		(北口駅前広場) 暫定舗装整備(580㎡) (駅舎・自由通路) 自由通路整備(平成22年度からの継続) 駅舎移転補償 (南口駅前広場) 暫定舗装整備(460㎡)	
規模				
件数				
等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-3			事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
JR白石駅自由通路の整備		-	-	-	工事中	供用開始	供用開始
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 当事業は、地域から寄せられた要望などを元に事業化した取り組みであり、また、地域の住民の方々で構成しているJR白石駅周辺地区街づくり協議会と連携しながら事業を推進している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] JR・バス等の公共交通事業者と連携を図りながら整備やバリアフリー化を推進している。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 定期的に事業の進捗状況や今後のスケジュールをJR白石駅周辺地区街づくり協議会へ報告・説明するなど、事業の推進に関する情報を地域の方々とも共有することで、当該地区のまちづくりに参加しやすい仕組みとなっている。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>平成20年度から工事を進めていた自由通路については、平成22年度(23年1月)に供用を開始し、合わせて橋上駅が開業した。これにより当該地区の「公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上」および「バリアフリー化」を推進させることができた。</p>				<p>利用者の利便性を考慮した自由通路・駅前広場の活用ルールの作成や運用方法などについて、引き続きJR白石駅周辺地区街づくり協議会や関係機関と連携し、検討を進める必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>22年度末(23年1月)に旧駅舎部分を除く自由通路(1期工事部分)の供用を開始したが、23年度は旧駅舎部分における自由通路(2期工事部分)および南北駅前広場の整備を進め、全面完成を予定している。(23年度に事業完了予定)</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-3			事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	1,510,000	498,000	967,000	1,549,000	4,524,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	650,000	191,600	405,100	687,200	1,933,900				
	市の債	529,000	207,000	365,000	540,000	1,641,000				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	331,000	99,400	196,900	321,800	949,100				
予算	事業費	1,510,000	627,000	850,420	1,272,000	4,206,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	650,000	216,000	364,000	612,000	1,842,000				
	市の債	529,000	284,000	298,000	567,000	1,638,000				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	331,000	127,000	188,420	93,000	734,420				
実績	事業費	1,509,000	640,635	726,720	1,314,000	4,190,355				
	財源内訳									
	国・道支出金	656,500	231,000	294,000	661,000	1,842,500				
	市の債	518,000	277,000	268,000	601,000	1,664,000				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	334,500	132,635	164,720	52,000	683,855				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					92.6%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										
※予算の計には、19年度から20年度への繰越分(45,000千円)及び21年度から22年度への繰越分(8,420千円)を含まない。										